

【テーマ】桃山台3丁目戸建ての高齢者ができるだけ長く住み慣れた住居で、安心して暮らせることを目指す

ねらい

ネットワーク構築の取組のコンセプト

- 1.生活課題のある高齢者を把握し、関係者と共有する。
- 2.生活上の問題が生じたときに地域住民が気が付いて相談機関につなげられるよう、住民間で日頃から声を掛け合えるようにする。
 - ・新しく入ってきた世帯にも、高齢者の相談機関を知ってもらう。
 - ・自治会や民生委員を通して声掛け、話が出来た環境を作っていく。
 - ・心配な世帯をできるだけ早めに地域包括支援センターにつないでもらう。

今後の展望・目標

コンセプトの内容を普及啓発する。その為の取組を行う。

- ・自治会、老人クラブとタッグを組んで、取組を行う。(出前講座等)
- ・高齢者に関わる地域の各団体と包括と個別の繋がりを図り、必要性を共有することが、普及啓発に繋がる。
- ➡ 上記の取組を行うことが桃山台3丁目の高齢者が望むこの地域で少しでも長く暮らしていける実践につながる **高齢者だけでなく高齢者を支援している世代にも理解してもらうことも重要。**

【テーマ】～地域で共につなぎ 共に話し合えるまちづくりをめざして～

地域の声

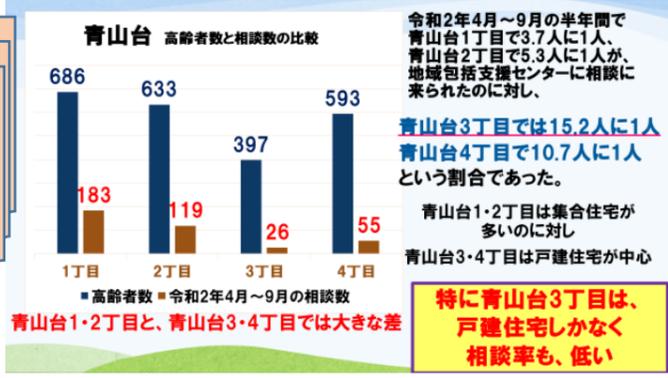
- ・防犯の事を知りたい
- ・積極的に相談や問題提示が出来る場所が必要
- ・坂道が多いため、移動が出来なくなると困る。
- ・数人で集まってイベント会場に行ける方法が出来たら良いと思う。

今後の目標

協力体制を維持、強化し問題に対して **早期発見・早期に対応**することができる

具体的な取組
介護保険事業者と**地域課題を共有**し、
今後も**継続して取り組んでいく。**
自治会単位で講座を開催する。

【テーマ】住民同士のつながりを目指して ～健康増進をテーマに～



取組内容(予定)

健康増進フェアの企画

屋外(青山台3丁目の運動広場など)で実施
2019年度の介護予防フェアを振り返り、効果的に実施できるように検討。
地域住民と共に、課題や企画を話し合う

【テーマ】本人を中心とした支援のネットワークを作ろう

対象地域(藤白台3丁目)の現状等

- 人口等
(吹田市HPより抜粋、2020年3月末現在)
人口:4,223人、世帯数:1,903世帯、
高齢化率:29.9%、75歳以上の方は765人
- 高齢者の状況
(総務省、平成27年国勢調査より抜粋)
高齢者が居る世帯数: 809世帯
高齢者のみの世帯数: 606世帯
高齢者夫婦のみ世帯数: 267世帯
高齢者単独世帯数: 324世帯

取組内容(予定)

- ①民生・児童委員、社協CSWへのアンケートを作成する
- ②地域関係機関(民生・児童委員と社協CSW)にアンケートの実施(面接or書面)
- ③地域包括内で、「地域関係機関(民生・児童委員、社協CSW)からの連絡時対応チャート」作成

地域包括支援センターのネットワークづくり

「地域包括支援センター」は、地域にあるさまざまな社会資源を活用し、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として吹田市には15か所設置されています。ここでは、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などが中心となって、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的にを行います。

高齢者の生活を総合的に支えていくためには、地域や医療・介護・福祉等の関係機関とのネットワークの構築が必要で、令和2年度のネットワーク実践力養成研修により、地域包括支援センターが地域と協働して取り組んだ内容を報告します。

【テーマ】 地域の支え合いが広がる住みよい街をめざして

取組内容

- ・関係機関の協力を得て、当該地域の現状と地域性を知る。
民生委員や街かどデイハウススタッフの協力を得て、利用されている方や当該地域の特性等について聞き取り。吹田市社協CSWより、当該地域からの相談状況について確認。
- ・自治会長との関係性を構築し、包括の取組の周知を図る。
自治会長に市や包括の取組を説明。包括の取組や救急医療情報キットについての周知を図る。
- ・地域住民への広報活動を行う。
街かどデイハウススタッフに、吹田かみかみ健口体操の講座開催を実施した実施の際には、市や包括の案内の配布と取組についての説明を行った。
吹一吹六地域包括通信(2020年冬号)、救急医療情報キットの案内をマンション内に掲示。

実施後の成果と課題

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、計画通りに進める事ができなかった。
- ・働きかけを行ったメンバーとの関係性の構築を進めることはできている。
- ・地域への訪問や活動が制限される期間が長期化する可能性もあり、地域住民との関係性の構築や「生活の困りごとは包括へ」の周知についての手段の再考が必要。

【テーマ】 南正雀地域の多世代交流を活発にする

南正雀1丁目・2丁目

- ▶ 地域の中心を通る大きな道路が建設中。
- ▶ 吹田市、吹三・東地区の中でも最南東に位置し、緑路や河川/学校敷地によって日常生活における境界線が多い。
- ▶ 当該範囲内にはスーパーやクリニックなどは存在せず、この範囲を超えて生活することが求められる。
- ▶ 昔ながらの住宅と、ここ数年で転入してきた子育て世代の住宅が混在している。



今後の展望・活動予定

- ▶ 企画時に目標としていた防災訓練については、現存する4自治会でも実施されているようだがその規模などについての詳細はつかみきれず、自治会と協働する形で、より多くの若い世代にも参加してもらえるように働きかけたい。
- ▶ この区域の若い世代をターゲットとした認知症サポーター養成講座の実施により、地域包括の知名度向上や区域内全体の介護意識向上を目指す。
- ▶ 研修で関係の構築ができたサロンの活動を後押しし、サロンの運営拡大と当包括の区域内での知名度向上という相互作用を生み出す。結果として支援の必要な高齢者の早期発見・早期介入に繋げたい。
- ▶ 現状の地域活動は高齢者世代の活動がメインとなっているが、若い世代もこの区域で過ごすことによる恩恵を受けられる場所になってほしい。

【テーマ】 地域のみんで災害時行動を考える

取組のきっかけは・・・

- ★山手地区のこれからを考える交流会★
- 山手地区で定期的開催されている「山手地区コア会議」には、地区福祉委員、民生委員、地域住民、地域の福祉関連事業所、学校関係者等が参加しています。
- 会議を拡大し「災害時における支え合い活動について」というテーマで交流会が行われました。

今後は・・・

- 地域の皆さんと、防災に関する勉強会をしたい
- 地域の事業所の方々や地域の皆さんと、災害時行動訓練をしたい
- 地域のみんで 日頃から防災や災害時行動について考え、備える活動を続けたい!



【テーマ】 安全のまち 岸部を目指して

岸部

岸部南地区ってどんな地域！？

- ・人口→3,387名(内65歳以上:988名)
- ・高齢化率→29.2%
- ・世帯数→2,038世帯(内自治会加入世帯:930世帯)
- ・自治会→4自治会
(南吉志部、新南町、岸部駅前、岸部東正雀)
- ・民生委員→8名
- ・避難場所(岸部南地区近く)→4ヶ所
- ・自主避難者(H30年)→台風21号(8月):0人、
台風24号(9月):5人

今後の課題や目標

- ・普段の暮らしにおいても、住民同士が協力しあいながら生活できる地域づくりの構築。
- ・「安心のまち岸部を目指して」の取組の継続。
- ・関係機関との相談・連携体制の維持・強化。

【テーマ】 坂のまち千里山でいつまでも誇りを持って暮らしたい！

千里山西

地域の現状分析

- 千三地区
 - ・人口:16,498人 高齢者人口・率:3,585人、21.7%(100歳以上が12人)
 - ・スーパーは1軒、コンビニは5軒。
 - ・民生委員は20人で、地区福祉委員と兼んでいる。
- 千新地区
 - ・人口:11,680人 高齢化人口・率:1,879人、16.1%
 - ・昭和40~50年代に建てられた、高齢化率の高いマンションが多い
 - ・民生委員は14人。
 - ・スーパーは1軒、コンビニが1軒。

吹田市で1番!

取組(事業)内容・ネットワークの内容(予定)

1. 地域の方と情報交換を行い、地域住民の買い物に対する実態把握を実施する。
地域のKP(キーパーソン)に相談。
2. 移動販売車に働きかける。
既存の資源(移動スーパー「とくし丸」)がある。
3. 販売のための駐車場所を探す。
まずは出来る場所です。
4. 地域住民に企画の広報を行う。
福祉委員会を通して民生委員に。
5. 移動販売車の周知企画を実施する。
成功体験の実現。

- 環境は階段・坂が多い住宅街で、バスが通っていない。
- 買い物や通院が不便。
- 訪問型サービス利用者数が122人。うち、買い物代行は44名。

【テーマ】 様々な世代の地域住民が気軽に声を掛け合えるまちづくり

南吹田

【個別課題】

- 地域で体操をする場所がない
- ・地区公民館では「いきいき百歳体操」などの教室が開催されているが地区公民館から離れて住んでいる人達が集まれる場所がない

【今後の展望・目標】

集いの場を作ることで高齢者同士のつながりや地域との関わりを持つことができ、自主的な活動グループの発生のきっかけづくりを行う

高齢者が地域で困っている人、支援が必要な人の情報を相談しやすくなり、高齢者同士の見守りのネットワークが構築できるようになることを継続した目標として今後も地域機関との関係作りを行っていく

【テーマ】 様々な世代の地域住民が気軽に声を掛け合えるまちづくり

亥の子谷

状況分析

～対象地域の現状、数値的データ等～

- ・吹田市は、総人口 8,041人 (65歳以上2,338人) 高齢化率29.1%
- ・エレベーターのない集合住宅が9棟、各階にエレベーターが止まらない集合住宅が7棟。(住民の高齢化が進んでいる)
- ・民生委員は12人 自治会は地域づくりのため学童への防犯パトロール(青パト)や小学生の下校の際の見守り活動を期間限定で行っている。
- ・公園が11カ所(内1カ所毎週水曜日 ひろばで体操を実施)
- ・山田伊射奈岐神社の秋祭り(地域無形民俗文化財)は小4の男子が太鼓神輿に乗り大人担ぎ、地域を歩く。毎年、地域住民の参加が盛ん(拠点は山三公民館)。
- ・夏には山三小学校にて盆踊り大会が開催される。地域の商店や自治会が参加。子供から施設入所の高齢者まで幅広い世代の住民が参加する。※2020年度はコロナの影響で中止。

成果と課題

- ・地域ニーズの把握&窓口啓発
→積極的に関係機関や社会資源に向くことで顔の見える関係性を作ることが出来た。高齢者以外にも幅広い世代の方の意見を聞くことが出来た。
- ・幅広い世代を対象に地域住民の方に認知症の理解を広げる
→地域住民を対象に認知症や相談窓口についての講座の予定を立てる事が出来た。
- ・地域ニーズと住民のストレングスのマッチング
→高齢者と保育園園児との交流のきっかけ作りについて具体的なお話しが出来た。※保育園(園児・職員・家族など)、民生委員、福祉委員の思いやニーズなどの情報を共有できた。

【テーマ】元気で安心して暮らせるネットワークづくり ～目の前にある豊江包括を知る。知ってもらう～

豊津・江坂

現状分析

- ・江坂町4丁目は令和2年3月末において、1,274世帯あり、総人口は2,757人である。老年人口は650人、高齢化率は23.6%となっている。
- ・緑地公園グランドコーポは、築42年で総戸数が90戸。分譲と賃貸があり住民の入れ替わりが激しい。
- ・マンション共有スペース内には一部手すり取り付けられており出入り口にはスロープもあるが、段差や階段があり、バリアフリー構造にはなっていない。

今後の展望・目標

- ・コロナ感染終息後はマンション自治会、理事会を通して講座や住民相談会を定期的に開催し、引き続き包括支援センターの周知を図るとともに、早い段階で困りごとを相談してもらえるようになる。
- ・地区福祉委員長やマンション自治会長との話し合いを通して知れた他マンションや自治会単位の地域にも取組を展開していく。また今回の取組をきっかけに作り始めた地区ファイルについても全地域に作成を展開していき、今後の地域活動や相談業務に生かしていきたい。

【テーマ】 住民同士が安心して暮らすための支援者のつながりづくり

山田

現状分析: 第1府営住宅について

- 西山田地区の山田西2丁目は分譲の集合住宅と府営住宅が混在する地域で、
高齢化率は38%と山田地域のなかでも高い
- ・そのなかで第1府営住宅(10棟:384世帯)は高齢者のみ世帯、独居世帯が多くなっている
- ・65歳以上の高齢者は200名ほど暮らしている
- ・第1府営住宅地区担当の民生委員は1人
- ・自治会執行部と民生委員の間で高齢者の見守り体制づくりの必要性を感じている

今後の事業展開

- ・現状では包括の周知が行き届いていないため民生委員の協力を得ながら、定期的に出張相談会を開催
- ・民生委員らとの意見交換の機会を定期的にもつ「アシストの会」が住民に受け入れられるように、包括も住民からの声(手伝いたい、利用したい)を伝えていく
- ・「支援者のつながりづくり」を進めるため、継続的に包括が関わることで、お互いの思い(考え)を伝達できるように代弁機能を果たしていく

【テーマ】 気軽に集える場づくり!

千里山東・佐井寺

1、千里山東・佐井寺地域の現状分析及び個別課題

- ①人口:23,674人 高齢者人口:4,703人 高齢化率:19.8%
- ②高齢者が利用できる社会資源:公民館2カ所、図書館1カ所
- ③地域資源についての問い合わせのうち54件のうち集いの場に関する相談25件
- ④常時利用できる集いの場はない。
- ⑤「自由に集える場がなくつまらない」「100歳体操をしたいが自分で仲間が作れない」「仲間が作れる場がほしい」等の声が多くあった。

集いの場づくりの必要性は高い!

4 今後の活動予定

- ①企画書の作成。
- ②実行委員会の立ち上げ・連合自治会長に推薦を依頼予定、講師やお世話役等ボランティア募集。
- ③「元気になるうかい」→コラボレーションも検討。
※会の名前どおり地域を元気にするために応援メッセージ等を地元スーパーや介護保険事業所に掲載する活動をしているグループ その他地域を元気にする活動を企画中!
- ④ボランティア募集チラシの作成。
- ⑤詳細が決まり次第、地域ケア会議やケアマネ懇談会等へ 情報発信予定。

【テーマ】 高齢者が安心して暮らせる街づくり

千里丘

東山田小学校区の特徴

- 坂道が多い。
- メゾン千里丘を中心に高齢化が進んでいる。
- 地区内に小型スーパーが1件しかなく、坂道を歩かないと買物できない。
- 地域活動に熱心な住民の力。
- 公園体操、認知症カフェ等。

今後の取組

- ①情報共有の場を作る
- ②支援が必要な高齢者を把握する
- ③地域のサロン等に参加し、包括の案内、PRを行う→地域住民が気軽に相談できるように

社協や民生委員と情報を共有し、地域の必要な情報をスムーズにキャッチできるようにしたい。